

令和6年度「橋梁定期点検要領」に適合したドローン橋梁点検システム

□ 要領に明記されたキャリブレーション方法に対応したアプリケーション

(令和6年度橋梁定期点検要領から抜粋:機器を移動させる速度, 対象物までの距離, 光学部の特性によっても得られる結果が変わると考えられる。そこで, 実際に用いる機器で, 実際に用いることが想定される条件でキャリブレーションしておく とよい。)

□ 4500万画素フルサイズセンサーカメラによる、自動飛行、静止撮影を実装

□ 1日約1,500㎡の作業効率

□ 国管理の橋梁を中心に全国で340橋脚の点検実績

□ コンクリート製の**上部工**に対応した自動飛行撮影を**近日実装予定**

ドローンを使用した橋梁点検技術の実演会 in 札幌

日時：令和6年10月18日（金）13：00～15：30

会場：南大橋（北海道札幌市豊平区水車町2丁目3 付近）

会費：無料

対象：行政ご担当者様/建設コンサルタント企業様/点検会社様

主催：特定非営利活動法人Digital北海道研究会 北海道ドローン協会

協力：株式会社FLIGHTS、HELICAM株式会社、北日本スカイテック株式会社

お申込み：<https://airtable.com/appNcDr5DZlnzjulq/pagZ9mBdwfiGZbjMo/form>



お申込みQRコード

※お申込締切り：10月11日（金）

※小雨の場合は雨天決行を予定しております。

大雨の場合は11月への延期となりますため、10月11日に天候判断を実施し、ご連絡いたします。

13:00～14:00 座学

橋梁定期点検要領(R6.7) 改訂に伴う

- ・点検支援技術における要点解説
- ・点検支援技術「BR010028」の適合性説明
- ・参考情報) R6年度性能カタログの公募 等



大日本ダイヤコンサルタント株式会社 中部支社技術部技師長
兼 株式会社FLIGHTS 技術顧問 堀田 毅

14:00～14:30 移動

14:30～15:00 デモフライト～成果品作成の実演

下記の流れで実演いたします

飛行撮影（自動）



精度管理（アプリ）



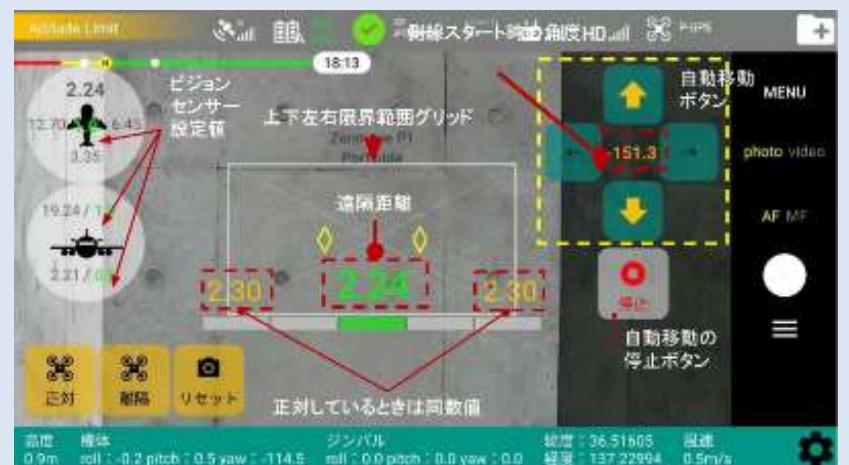
画像処理（Metashape）



AI検出照査



成果品作成



「FLIGHTS CONTROL」飛行画面イメージ

※今回のデモフライトより、上部工の実演も行います

15:00～15:30 質疑応答、個別相談

●実演会の趣旨

笹子トンネルの崩落事故をきっかけに、2014年から開始された橋梁およびトンネルの5年ごとの近接目視による定期点検は、2019年に定期点検要領の改定が行われ、ドローンを始めとした新技術が橋梁やトンネルの点検に積極的に活用されるようになりました。

今年度は定期点検も3巡目に入り、新技術の活用で点検効率を上げることが、より一層、期待されますが、現時点でドローン橋梁点検は、普及に至っておりません。

今回は、**2022-23年度の国交省の点検業務で200橋脚の実績のあるドローン**（点検支援技術「BR010028」）を用いて、実際の橋梁を対象に、上部工も含め、デモフライトを行います。

また前半の座学では、橋梁定期点検要領（R6.7）改訂に伴う、要点の解説を行います。

座学会場：Space札幌 大通EAST（北海道札幌市中央区南2条東2丁目7-1）

※「すすきの駅」から徒歩10分程度/専用駐車場がないため、公共交通機関をご利用いただくか、近隣パーキングをご活用いただければと思います。



実演会場：南大橋 東側（北海道札幌市豊平区水車町2丁目3付近）

※中島公園駅から徒歩7分程度/専用駐車場がないため、公共交通機関をご利用いただくか、近隣パーキングをご活用いただければと思います。



お問い合わせ：株式会社FLIGHTS 橋梁点検事業部 03-5860-1023